

国際会議等の誘致

国際会議等（MICE）誘致推進事業

東日本大震災の発生以降、本県は「地震・津波・原発・風評」の4つの被害から立ち上がるために邁進しているところである。今後被害の克服を図り、復旧・復興を遂げていく中で、国際会議等を誘致し開催に結びつけることは、風評の払拭はもちろん、震災以降の福島イメージ回復を図り、更なる県の魅力の発信や観光・商工業・農業等も含めた地域経済の活性化のためにも絶好の機会になると考えられる。

このため、本県では外務省や観光庁などの中央官庁や日本政府観光局（JNTO）、関係機関への働きかけなどを行い、県内での国際会議等誘致に取り組んでいる。

さらに、本県で開催される国際会議等に際しては、風評の払拭及び県の魅力発信を目的に、視察コースの設定や案内、会議会場内における県復興状況等のパネル展示やプレゼンテーションの実施、観光・物産の展示、レセプションにおける県産品の利用などにより、参加者を通じて世界へ正しい情報を発信している。

1 県内における国際会議等開催実績

(単位：件数)

	国際会議 (C)	国際ミーティング (M)	視察・研修旅行等 (I)	展示会・イベント等 (E)	合計
平成27年度	15	0	30	3	48
平成28年度	8	0	24	3	35

※1 平成29年2月28日現在(国際課調べ)

※2 MICEはMeeting（企業等の会議）、Incentive Travel（企業等の行う報奨・研修旅行、インセンティブ旅行）、Convention（国際機関・団体、学会等が行う国際会議）、Exhibition/Event（展示会・見本市、イベント）の頭文字

※3 国際会議件数：日本政府観光局（JNTO）基準を参考に集計

2 平成28年度の主な実績（①開催日 ②主催 ③開催地 ④規模 ⑤県対応）

- (1) 第1回福島第一廃炉国際フォーラム
 - ①平成28年4月 ②経済産業省資源エネルギー省、原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)
 - ③いわき市 ④7か国614名 ⑤知事挨拶、展示
- (2) 第2回レジリエント・コミュニティ国際シンポジウム
 - ①平成28年4月 ②第2回レジリエント・コミュニティ国際シンポジウム実行委員会
 - ③郡山市 ④4か国600名
- (3) 第30回国際セミナー
 - ①平成28年9月～10月 ②(公財)国際研修交流協会 ③北塩原村 ④10か国180名
 - ⑤会場内パネル設置、交流会における福島県紹介ブース設置
- (4) 第1回世界ご当地エネルギー会議
 - ①平成28年11月 ②第1回世界ご当地エネルギー会議実行委員会 ③福島市
 - ④28か国300名
- (5) 食品安全科学国際ワークショップ
 - ①平成28年11月 ②内閣府、経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA) ③福島市
 - ④8か国130名